

日本赤十字社長崎原爆病院治験審査委員会 会議の記録（概要）

開催日時	2023年08月16日（水）16：03～17：05	開催場所	日本赤十字社長崎原爆病院 2階 あじさいホール（大）
出席委員名	城 達郎、柴田 健一郎、池田 能利子、久松 千枝子、村田 誠、森田 夢理、上島 泰二、 松崎 さつき		
特記事項	柴田 健一郎委員は「カルメット・ゲラン桿菌（BCG）未治療の高リスク筋層非浸潤性膀胱癌（HR-NMIBC）患者を対象に、TAR-200 と cetrelimab の併用投与又は TAR-200 単独投与と、BCG 膀胱内投与の有効性及び安全性を比較する、第3相非盲検多施設共同ランダム化試験」から出席した。		
	議 題	主な議論の概要	審議 結果
	<p><報告事項> （治験課題名） 富士フィルム富山化学株式会社の依頼による市中肺炎を対象としたソリスロマイシンの臨床第III相試験</p> <p>（開発の相） 第III相 （対象疾患名） 市中肺炎 （治験依頼者名） 富士フィルム富山化学株式会社</p>	<p>① 治験終了報告</p> <p>以上1点について、報告した。</p>	—
	<p><初回審査> （治験課題名） カルメット・ゲラン桿菌（BCG）未治療の高リスク筋層非浸潤性膀胱癌（HR-NMIBC）患者を対象に、TAR-200 と cetrelimab の併用投与又は TAR-200 単独投与と、BCG 膀胱内投与の有効性及び安全性を比較する、第3相非盲検多施設共同ランダム化試験</p> <p>（開発の相） 第III相 （対象疾患名） 膀胱癌 （治験依頼者名） ヤンセンファーマ株式会社</p>	<p>提出された資料に基づき、治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	承認
	<p><継続審査> （治験課題名） ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による骨髄異形成症候群患者に対する ACE-536 の第III相試験</p> <p>（開発の相） 第III相 （対象疾患名） 骨髄異形成症候群 （治験依頼者名） ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社</p>	<p>① 国内外で報告された安全性情報に関する報告 ② Dear Investigator Letter</p> <p>以上2点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	承認
	<p><継続審査> （治験課題名） ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による骨髄異形成症候群日本人患者に対する ACE-536 の第II相試験</p> <p>（開発の相） 第II相 （対象疾患名） — （治験依頼者名） ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社</p>	<p>① 国内外で報告された安全性情報に関する報告</p> <p>以上1点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	承認

<p><継続審査> (治験課題名) 骨髄増殖性腫瘍関連骨髄線維症患者を対象としたLuspatercept (ACE-536) の第3相試験 (開発の相) 第Ⅲ相 (対象疾患名) 骨髄線維症 (治験依頼者名) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社</p>	<p>① 国内外で報告された安全性情報に関する報告</p> <p>以上1点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>
<p><継続審査> (治験課題名) パレクセル・インターナショナル株式会社 (治験国内管理人) の依頼による日本人の成熟B細胞性悪性腫瘍患者を対象としたzanubrutinibの第Ⅰ/Ⅱ相試験 (開発の相) 第Ⅰ/Ⅱ相 (対象疾患名) ー (治験依頼者名) パレクセル・インターナショナル株式会社</p>	<p>① 国外で報告された安全性情報に関する報告 ② 治験薬概要書、説明文書、同意文書改訂</p> <p>以上2点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>
<p><継続審査> (治験課題名) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による骨髄線維症を対象としたFedratinibの第1/2相試験 (開発の相) 第Ⅰ/Ⅱ相 (対象疾患名) ー (治験依頼者名) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社</p>	<p>① 国内外で報告された安全性情報に関する報告</p> <p>以上1点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>
<p><継続審査> (治験課題名) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による第1b/2a相試験 (開発の相) 第Ⅰb/Ⅱa相 (対象疾患名) ー (治験依頼者名) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社</p>	<p>① 国外で報告された安全性情報に関する報告</p> <p>以上1点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>
<p><継続審査> (治験課題名) パレクセル・インターナショナル株式会社 (治験国内管理人) の依頼によるB細胞性非ホジキンリンパ腫患者を対象としたREGN1979の第Ⅱ相試験 (開発の相) 第Ⅱ相 (対象疾患名) ー (治験依頼者名) パレクセル・インターナショナル株式会社</p>	<p>① 国内外で報告された安全性情報に関する報告</p> <p>以上1点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>
<p><継続審査> (治験課題名) 日本人急性骨髄性白血病患者を対象とした完全寛解達成後の維持療法としての経口用アザシチジンと最良支持療法との併用療法の有効性及び安全性を最良支持療法と比較する第2相ランダム化二重盲検プラセボ対照試験 (開発の相) 第Ⅱ相 (対象疾患名) ー (治験依頼者名) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社</p>	<p>① 国外で報告された安全性情報に関する報告 ② 治験薬概要書改訂</p> <p>以上2点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>

<p><継続審査> (治験課題名) 抗 CD38 モノクローナル抗体及びレナリドミドを含む 1~3 ラインの前治療歴がある再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象に、teclistamab 単剤療法と、ポマリドミド、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン (PVd) 又はカルフィルゾミブ及びデキサメタゾン (Kd) 併用療法を比較する第 3 相ランダム化試験 (開発の相) 第Ⅲ相 (対象疾患名) 多発性骨髄腫 (治験依頼者名) ヤンセンファーマ株式会社</p>	<p>① 国内外で報告された安全性情報に関する報告 以上 1 点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>
<p><継続審査> (治験課題名) 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象としたファリシマブの継続投与試験 (開発の相) 第Ⅲ相 (対象疾患名) 新生血管を伴う加齢黄斑変性 (治験依頼者名) 中外製薬株式会社</p>	<p>① 国外で報告された安全性情報に関する報告 以上 1 点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>
<p><継続審査> (治験課題名) 中外製薬株式会社の依頼による新生血管を伴う網膜色素線条患者を対象とした R06867461 (ファリシマブ) の第Ⅲ相試験 (開発の相) 第Ⅲ相 (対象疾患名) 網膜色素線条 (治験依頼者名) 中外製薬株式会社</p>	<p>① 国外で報告された安全性情報に関する報告 以上 1 点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>
<p><継続審査> (治験課題名) Randomized, Double-Masked, Active-Controlled, Phase 3 Study of the Efficacy and Safety of High Dose Aflibercept in Patients With Neovascular Age-Related Macular Degeneration 滲出型加齢黄斑変性患者を対象とした高用量アフリベルセプトの有効性及び安全性を検討する無作為化二重遮蔽実薬対照第 III 相試験 (開発の相) 第Ⅲ相 (対象疾患名) 滲出型加齢黄斑変性 (治験依頼者名) バイエル薬品株式会社</p>	<p>① 国外で報告された安全性情報に関する報告 以上 1 点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>
<p><継続審査> (治験課題名) 網膜静脈閉塞による黄斑浮腫における高用量アフリベルセプトの有効性及び安全性 (開発の相) 第Ⅲ相 (対象疾患名) 黄斑浮腫 (治験依頼者名) バイエル薬品株式会社</p>	<p>① 国外で報告された安全性情報に関する報告 ② 同意説明文書・同意書改訂、治験分担医師変更 以上 2 点により、引き続き治験を実施することの妥当性について、審議した。</p>	<p>承認</p>